



根拠をもとに読む

- 文章のつくりを見つめて -

6月3日(火)1時間目。

この時間は、文章をただ読むだけでなく、「どこまでがはじめて、どこからが中、どこからが終わりなのか」を、本文の言葉を根拠に考えました。

子どもたちは、教科書に戻りながら、接続語、例、キーワード、文章の構造などに着目し、自分の考えをノートに整理していました。

授業の中では、友達と考えを確かめ合い、「なぜそう考えたのか」を伝え合う姿も見られました。

こうしたやり取りを通して、児童は自分の読みを見直しながら、文章のつくりになんげずつ目を向けていきました。

国語の学習では、答えを見つけることだけでなく、そう考えた理由を言葉にすることが大切です。今日の授業でも、児童が本文と向き合い、根拠をもって考えようとする姿が光っていました。

